

平和を祈念する作文

お問い合わせ

福祉課総務係

☎ 42-8100



左から古関さん、安部さん、藤原さん、成田さん、岩澤さん

今年で15回目となる「平和を祈念する作文」には、小学生から一般までたくさん作品が寄せられ、総数は378編になりました。

今年のテーマは「世界が平和になるために」。数多くの優れた作品の中から、次の方々が受賞され、8月7日に市民文化会館で行われた平和祈念式で表彰されました。

小学生の部

最優秀賞

古関 芽衣さん(有浦小6年)

優秀賞

安部 伶捺さん(川口小6年)
猿渡 ひかるさん(有浦小6年)

中学生の部

最優秀賞

藤原 真梨子さん(東中2年)

優秀賞

佐藤 大地さん(花岡中3年)
成田 有加さん(花岡中3年)

高校・大学・一般の部

最優秀賞

岩澤 隆子さん(金坂)

優秀賞

佐々木 千枝子さん(天下町2区)



世界が平和であるために

有浦小学校 六年 古関 芽衣

私のおばあちゃんがまだ若かったころ、日本は戦争の真っただ中でした。あちこちにばくだんが落とされ、空は常に灰色だったそうです。「こんな戦争、だれが起こしたんだ!!」「今までの幸せな日々を返して!!」当時の人達は、だれもがそう思ったでしょう。こんな理不尽な戦争を私は想像しただけでもゾッとしました。

戦争の最中、まだ小さかった子ども達は何が起きたのかも分からず、ただばくだんからにげていたのでしよう。そして、ずっと自分達に幸せがくるのを待っていたと思います。しかし、たくさんの子ども達は、この戦争でなくなってしまうのです。こんなむごい争いは、人々の心にきずを付けるだけです。戦争は絶対にしてはいけないことです。私はそう強く思いました。

どうして戦争が絶えないのか。平

和のために私達にできることは一体何なのか。疑問は私の中でどんどん大きくなっていきます。

そんな時、マザーテレサがその答えを示してくれました。「世界平和のためにできること? 毎日あなたのお家に帰って、あなたの家族を愛してください。」この言葉には、とても深い意味がこめられていると思います。平和のために、そんなに特別な行動をしなくていい。まずは身近な人を愛することから始めなさい、と。

私はこれからこの言葉を常に意識して、周りの人を愛して生きていこうと思います。

世界の人々が一人でも多く平和だと感じるためには、まず周りの人を愛していくことが私達にできる一番大切なことではないでしょうか。